



様式第8号(第6条関係)

令和6年4月1日

(宛先)志摩市議会議長

会派名 自由クラブ志摩
代表者氏名 前田 俊基

政務活動費実績報告書

志摩市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定により、下記のとおり令和5年度政務活動費に係る調査研究、研修、要請・陳情活動の実績について報告します。

記

1 実績報告の期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 調査研究、研修、要請・陳情活動の概要

・令和5年7月10日(宮城県七ヶ宿町役場)

目的：人とモノの流れを再生する小さな拠点事業を学ぶ

内容：志摩市と共通した課題の、少子高齢化の発展による人口減少が、小売店舗と雇用機会の減少を招き、さらにそうした不安が人口減少を助長する悪循環に陥った中で、住民等の出資による「まちづくり会社」による賑わい創出策と、行政による交流人口の増加策を組み合わせたい欲的な取り組みを探る。

また、行政による財政支援と情報発信、民間事業者及び住民による賑わいの創出、金融機関による融資など、関係者が協働した取り組みと「まちづくり会社」の自主財源による自立の道筋を探る。

・ 令和5年7月11日(岩手県陸前高田市市役所)

目的：東日本大震災の経験・復興プロセスを活用した交流活動
拠点づくり事業(空き校舎の利活用)など復興まちづくり
等を学ぶ

内容：震災に耐えた空き校舎を活用して「震災経験と防災」

「復興再生」「地域交流」等の知の集まる世界的拠点へと
発展させていく内容を視察し、近い将来必ず来るであろう
「東南海地震」に対する教訓だけでなく、復興と地方創生
を効果的に組み合わせ、発展につなげるための取り組みとし
て参考にしたい。また、行政だけでなく、企業や大学など
官民協働による取り組み、協賛による自立への道筋を学ぶ

・ 令和5年7月12日(福島県猪苗代町 道の駅猪苗代)

目的：防災道の駅としての整備と活用計画を学ぶ

内容：「道の駅猪苗代」は、常磐道猪苗代磐梯高原インターチェ
ンジを降りてすぐの国道115号に面して、平成28年11月に
オープン。北には磐梯山、南には猪苗代湖を望む抜群のロ
ケーションを有する立地である。平成27年1月には、地方
創生の拠点として期待ができると認められ、防災面で開業
に先立ち「重点道の駅」に選定され、磐梯山の噴火による
災害有事に町役場を補完するための機能も有する。災害用
防災倉庫には200人が2~3日間滞在できる食料や毛布を備
蓄している事などにより、令和3年6月17日に防災道の駅に
指定されている。施設内では地場産品を中心とした物産の
販売やレストラン機能があるが、発電・蓄電設備・BCP
の作成など、2025年までに志摩市が整備すべき点について
学ぶ

・ 令和5年10月25日～26日

(第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州に参加)

目的：大テーマは「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

統一地方選挙の結果を検証し、改めて地方議会の課題を
整理した上で、その解決に向けた今後の方向性を展望する

としたもので、約2400名の参加でした

内容：10月25日(水)

第1部 基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」

片山善博氏(大正大学教授兼地域創造研究所所長)

- ・日本の地方議会に欠けていることは何か

⇒公開の場の真剣な議論

税の議論

住民の声が聞こえない

- ・現行の議会の権限を活用して、もっと積極的に取り組むべきこと

⇒議案の裏を取って、もっと丁寧に議論する

第2部 パネルディスカッション

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

コーディネーター 谷隆徳(日本経済新聞編集委員)

パネリスト 勢一智子(西南学院大学法学部教授)

辻 陽(近畿大学法学部教授)

濱田真理(Stand By Women代表他)

田仲常郎(北九州市議会議長)

問題関心：人口減少社会の本格的到来が地域にもたらすもの

：住民自治の危機

：地域社会の「鏡」としての地方議会とは

：地方自治法改正の意義

：多様な人材の議会への参画

：議員のなり手不足問題における小規模自治体の課題

：議員のなり手不足問題における大規模自治体の課題

：地方議員に対するハラスメントの現状

：都道府県議会の主なハラスメント対策

：ハラスメントに関する条例制定

：女性議員のハラスメント相談センター

：相談体制や議会内のルール作りが重要

：北九州議会の取り組み

・カフェトーク in 北九州

・ドリームサミット(中学生議会)

- ・ 平和のまちスタディーツアー(議会等視察)
- ・ 北九州市における議員立法
- ・ 子ども基本条例検討会

第3部 意見交換会

: 10月26日(木)

第4部 課題討議「議員のなり手不足問題への取組み報告」

コーディネーター 江藤俊昭

(大正大学社会共生学部公共政策学科教授)

事例報告者 辻弘之(登別市議会議長)

たぞえ麻友

(一般社団法人WOMAN SHIFT理事)

(目黒区議会議員)

永野慶一郎(枕崎市議会議長)

課題・議員のなり手不足は住民自治の劣化を招く

- ・ 国政を侵食する草の民主主義の衰退
- ・ 議会をめぐる議員のなり手不足の要因
- ・ 議員のなり手不足の解消の打開策の前提
- ・ 議員のなり手不足問題の正攻法と豊富化
- ・ なり手不足解消の特効薬としての政治進出
- ・ 現状における提言と法律改正の議論

(今後の検討)

人口減少や市の財政を理由に、安易な議員定数の削減や議員報酬削減をすることは将来の市議会の多様性や存続に大きく関わる事が過去の事例において明らかであることが報告された。

志摩市においても同様な傾向にあることから、今後も継続して調査研究する必要がある。

・ 令和6年2月22日(第一イン池袋)

目的：(株)廣瀬行政研究所主催のセミナーを受講し

「議員・職員のための議会改革と効果的な予算・決算審議
手法」を学ぶ

内容：10：00～13：00

数字で見る議会改革の効果検証と今後の方向性

14：00～17：00

効果的な予算・決算審議手法を考える